NIE実践報告

1．タイトル：進路試験に対応するために

2．学校名

大阪市立鶴見商業高等学校

3．実践者名（代表者名）

石丸和成

4．学年

2・3年生

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

2年２２９名　3年２１５名

6．単元（本時の学習課題）名

「進路試験に対応するために面接で答えられるように時事問題に強くなろう」

7．目標(狙い)

進路を決めていく生徒のほとんどに必須となる面接試験で時事問題を聞かれた時に答えられるようにする。
経済系４年生大学に進学する際に必要となる経済小論文に対応できるようにする。

8．評価の視点

今年おこった重大事件などについて最低限の知識をもっている。経済系小論文をきちんと書くことができるようにする。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①論文を書けるようになるための知識を増やす。
②論文を実際に書いてみる。

①時事問題の知識を増やす。
②興味を持った記事について自分の意見をまとめる。
③面接練習でそのことについて答えられるようにする。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

時事問題については、情報を入れて、自分の考えを持つだけなので特に難しいことはないが、論文についてはなかなかできるようにならないので、とにかくがまん強く何回も書かせることが重要。

12．成果と課題

複数の新聞を読むことで、その時、何が話題になっているのかがよくわかる。生徒にその話題について学習させることができる。繰り返し取り組むことで生徒の知識は確実に増えた。ただし、授業での取り組みを行っていれば、もっと様々な効果が生まれるのではないか。